

既存建物の特徴を生かし、無理なく合理的なリフォームがなされている。突き出た下屋を陸屋根にして構造の一体性を図りながら、印象的な金属板貼りの箱型のファサードとすることで、街並みに馴染むモダンな住宅に蘇らせることに成功している。

リフォーム前後の写真



①改修前外観



②改修前リビング



⑥改修後外観



⑦改修後LDK



③改修前外観



④改修前和室



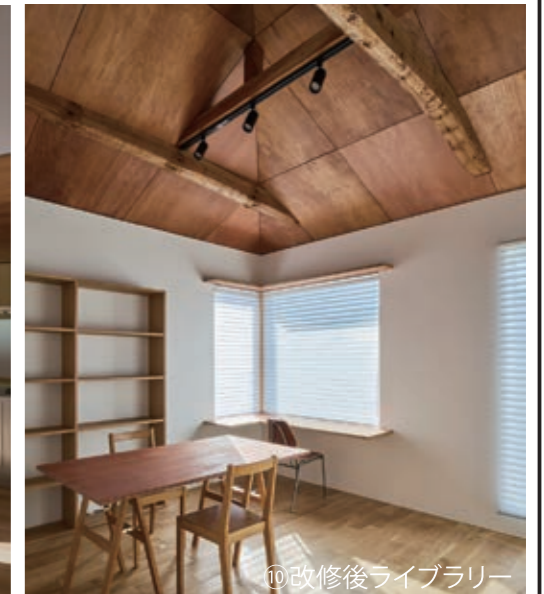
⑤改修前洋室



⑧改修後外観



⑨改修後ダイニング



⑩改修後ライブラリー

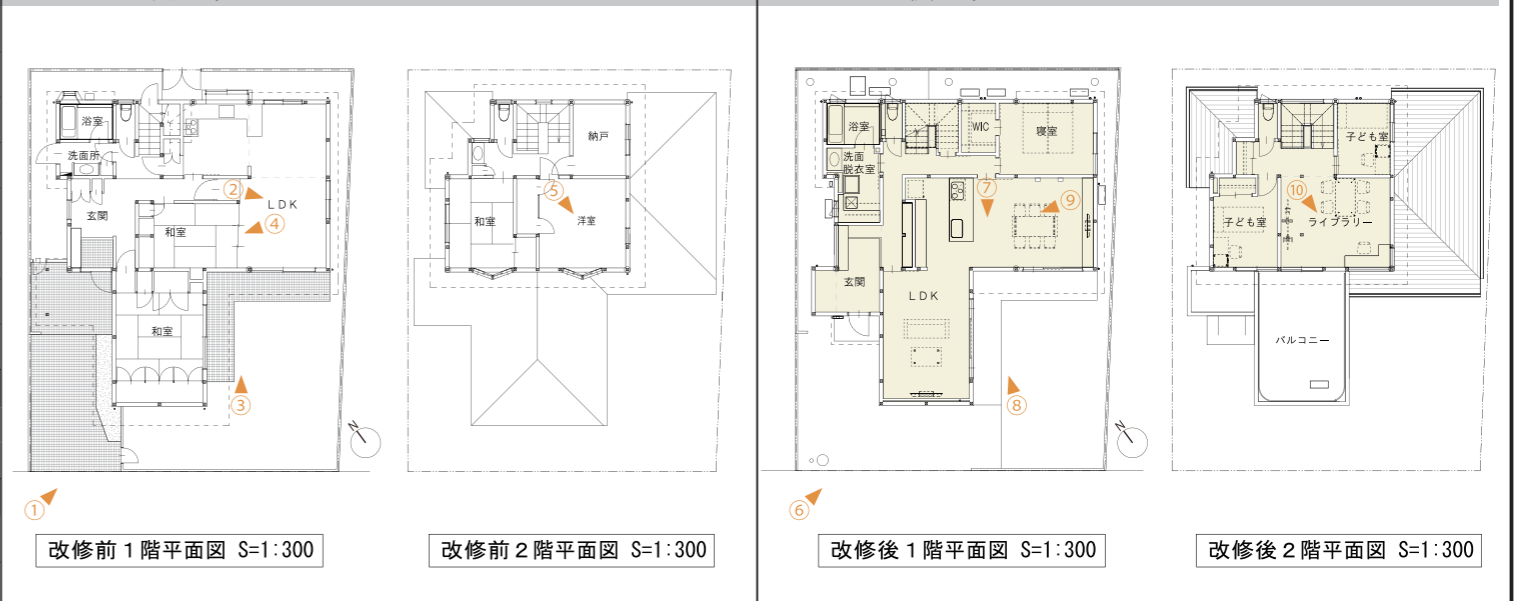
**リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など**

- ・ 築37年の一戸建て住宅（賃貸物件）を30代の施主が買い上げ、スケルトンリフォームを行い再生させた事例です。
- ・ 外観上は瓦屋根が重く、出窓などの古いイメージも一掃するよう1階の下屋を解体して陸屋根にし、外壁もモルタルや金属板で軽やかに仕上げました。また、住宅地の風景に合わせて、2階建ての家に箱型を増築したかのようなデザインとしました。
- ・ L字型に突出した1階部分が建物の重心を悪くしていましたので、壁量や開口部の位置を調整し耐震性能を向上させました。
- ・ 平面計画では現代の住まい方に合うよう、1階に連なっていた部屋を一つの広々としたLDKにしました。2階にはテレワークもできる共同の学習スペースとしてライブラリーを計画しました。
- ・ 一部、既存の梁を露出させ建物の歴史を表し、ラワン合板天井と合わせることで新築にはない懐かしさのある空間としました。家具も施主の愛用品や古い物を空間に合うよう選びました。
- ・ 予算の都合で一部DIYで施工したり、一緒に苦労して作り上げましたので施主にも大変満足いただきました。

性能向上の特性	特に配慮した事項	Iw 値、Is 値
耐震性能、耐久性性能、温熱性能	補助金の申請もあり、耐震Iw値1以上、省エネ基準適合となるよう配慮した。	リフォーム前 0.74 リフォーム後 1.01

データ					
所在地	埼玉県久喜市	新築竣工年	1986年	築後年数	38年
施工期間	180日間	該当工事床面積	139.13㎡	総工事床面積	139.13㎡
該当部分工事費	3,230万円	総工事費	3,230万円	居住者構成	65歳以上： 人 / 40～64歳： 人 / 15～39歳： 2人 / 14歳以下： 3人 / ペット 匹

リフォーム前の平面図 / リフォーム後の平面図



リフォーム部位： ■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ ■階段/ ■玄関/ ■クローゼット/ □マンション共用部分/ □その他